

専用のパソコンを使ってプログラミングを学ぶ参加者=17日、鯖江市  
旭町1丁目



鯖江

授業支援へプログラミング講座

# I-T魅力大人が体感

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されるのに合わせ、鯖江市旭町1丁目のHana道場で17日、全5回の「大人のためのプログラミング入門講座」

が開かれた。参加者は専用のパソコンを使って簡単なゲーム作りに挑戦。改めてI-Tの便利さやおもしろさを感じ取っていた。  
(杉本拓磨)

## 教員ら19人 ミニゲーム作り挑戦

授業をサポートできる人材を育成しようとHana道場を運営するNPO法人「エル・コミュニケーション」が2017年から大人向けの教室を開いている。今回はより専門的な知識を身に付けてもらうため初めて5回シリーズで企画したところ定員の3倍となる19人が参加。参加者には現役の教員もいる。講師は同NPOの職員が務め、教材には鯖江市内に開発拠点を持つ「iig.jp(東京)」が開発した子ども向けプログラミング専用パソコン「ichigoJam(イチゴジャム)」を使用した。シリーズ4回目となる17日は7人が参加し、これまで習ったコマンド(命令)を使って足し算

のゲーム作りに挑戦した。「丁寧に教えてもらえるの講師の助言を受けながら、ランダムに二つの数字が出るようプログラミングした。入力した数字によって音の高さが変わるプログラムも作った。参加者は全5回終了後、iig.jpが独自に設けた検定に挑戦する。合格者には、同道場のプログラミング教室で講師の経験を積んでもらう予定だ。大野市から参加している黒瀬博徳さん(44)は

「丁寧に教えてもらえるので少しずつ理解してきた。小学生の子とも一緒にできれば」と話していた。